

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和7年5月15日

1. 活動テーマ

<テーマ>

全園児…葉っぱの生長を見る

<テーマ設定理由>

- 「葉っぱになる前はどんな感じなのかな」の子ども達のつぶやきから、いろいろな形や色の種を触ってみる。

2. 活動スケジュール

- 少人数の子ども達とケースに入った種を眺めたり、触って見て感じたことを友達と共有する。
- 種の標本を見て触って、感じたことを保育士や友達と共有する。
- 「大きくして見て見たい」の声により、電子黒板を使って見て感じたことを共有する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- 植物（わた花、ふうせんかずら、マリーゴールド、ひまわり、あさがお）や野菜（のらぼう菜、ゴーヤ）の種を蓋付きのケースに入れて用意
- 種の標本（植物、野菜の写真と種をパネルに貼った物）
- 電子黒板
- 種をのせるトレイ、ピンセット

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- 少人数でケースに入っている種を見たり、手のひらに乗せて友達と見せ合ったりして、色や形について感じたことを伝え合いながら話す。
- 種の標本を手に取り、一粒一粒を指先で触ったり、友達や保育士に感じたことを話す。
- 「大きくして見て見たい」のつぶやきを元に電子黒板を使い1種類ずつ種を拡大して見て、名前、見た目（色、形）など感じたことを話す。
- プランターに保育士や友達と種を植え、どんな葉っぱが出てくるのかを友達と話しながら植える。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



- ケースに入っている種を見て「これはなんだろう」「黒いね」など保育士とやり取りをしていると「触ってみたい」と呟いた子がいたので、手のひらに載せたり、種の標本を指先で触っていた。
- ひまわりの種を見て「ゼロの形」「しましま」「しまうまに見える」「これはごま塩のごまだよ」と呟く子がいた。
- ひまわりの花の写真を見て「ここに種があるんだよね」と中心を指さして教えてくれた子がいた。
- マリーゴールドの種を「ひまわりから出た種」とひまわりの種の中身だと話す子がいた。「たんぼほの種」「くつつき虫」と身近で見たことがある種の話をする。
- ゴーヤの種を見て「おばけの種で埋めたらおばけが出てくる」と可愛らいつぶやきがあった。
- ふうせんかずら種では「ハートの種」「ヒーローの顔みたい」と2歳児からのつぶやきがあった。
- あさがおの種では「石かな」と話す子が多く、手の平で転がして見ている。
- 朝顔の名前の由来を話すと「夜になったらこうなるの」と両手を小さく握って見せた。
- ほうせんか花の種を見て「小さいね」と他の種との大きさに気づいた。
- わたの花も種の表面を見て「髪の毛」「埃」と呟く子がいる中「わたみたい」と気づいた子がいた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- 5歳児が色々な発見をして発言してくれたので、2歳児も種を見て感じたことを保育士に話している子が多かった。電子掲示板で種を拡大して見たことで、さらに子ども達自身が感じたことをたくさん話し、友達と共有しながら種を見ることができた。
- ふうせんかずらの種の模様は、2歳児クラスの子も達にもわかりやすく、手に取って興味深く見ていた。
- わた花の種では、表面の白い綿の様に気が付き「わたげ」と保育士でも思い浮かばない発言や「おばけの種」と夢のような種の名をつぶやく子がいて、発芽し葉が大きくなった時の子ども達の様子が楽しめた。
- 電子黒板を使って拡大した種の表面の模様など細かく見え、ゴーヤの種を「はちみつ」（蜂の巣）を思い浮かべた子がいたことに驚かされた。
- 事前の話し合いをもとに、どう進めていくかを話し合い、保育士が実践しておいたのが良かった。
- 毎日、記録としてプランターの様子を写真に残しておく。
- 次回は、発芽の様子を探求していく。